

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2008-32262(P2008-32262A)

【公開日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-006

【出願番号】特願2006-203637(P2006-203637)

【国際特許分類】

F 2 2 B 1/28 (2006.01)

F 2 2 D 5/00 (2006.01)

F 2 4 C 1/00 (2006.01)

F 2 4 C 7/02 (2006.01)

F 2 2 B 37/78 (2006.01)

【F I】

F 2 2 B 1/28 A

F 2 2 D 5/00 B

F 2 4 C 1/00 3 4 0 B

F 2 4 C 7/02 H

F 2 4 C 1/00 3 2 0 B

F 2 4 C 1/00 3 2 0 F

F 2 4 C 1/00 3 2 0 Z

F 2 2 B 37/78

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月3日(2008.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

蒸発容器と、

上記蒸発容器内を仕切って、上記蒸発容器の底部側のみで連通する水位検知室と蒸発室を形成する仕切部と、

上記蒸発容器内の水位を検出する水位センサと、

上記蒸発容器内に供給された水のうちの上記蒸発室内の水を加熱するヒータ部と

外部から水を供給するために上記蒸発容器に設けられた給水口と、

上記蒸発容器の上記蒸発室側に設けられた蒸気出口と

を備え、

上記給水口から上記蒸発容器内に供給される水の少なくとも一部が上記水位検知室内に供給されることを特徴とする蒸気発生装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の蒸気発生装置において、

上記給水口が上記蒸発容器内の上記水位検知室の上側に設けられていることを特徴とする蒸気発生装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の蒸気発生装置を備えたことを特徴とする加熱調理器。